

国指定文化財：白浜町安宅氏城館跡（史跡）

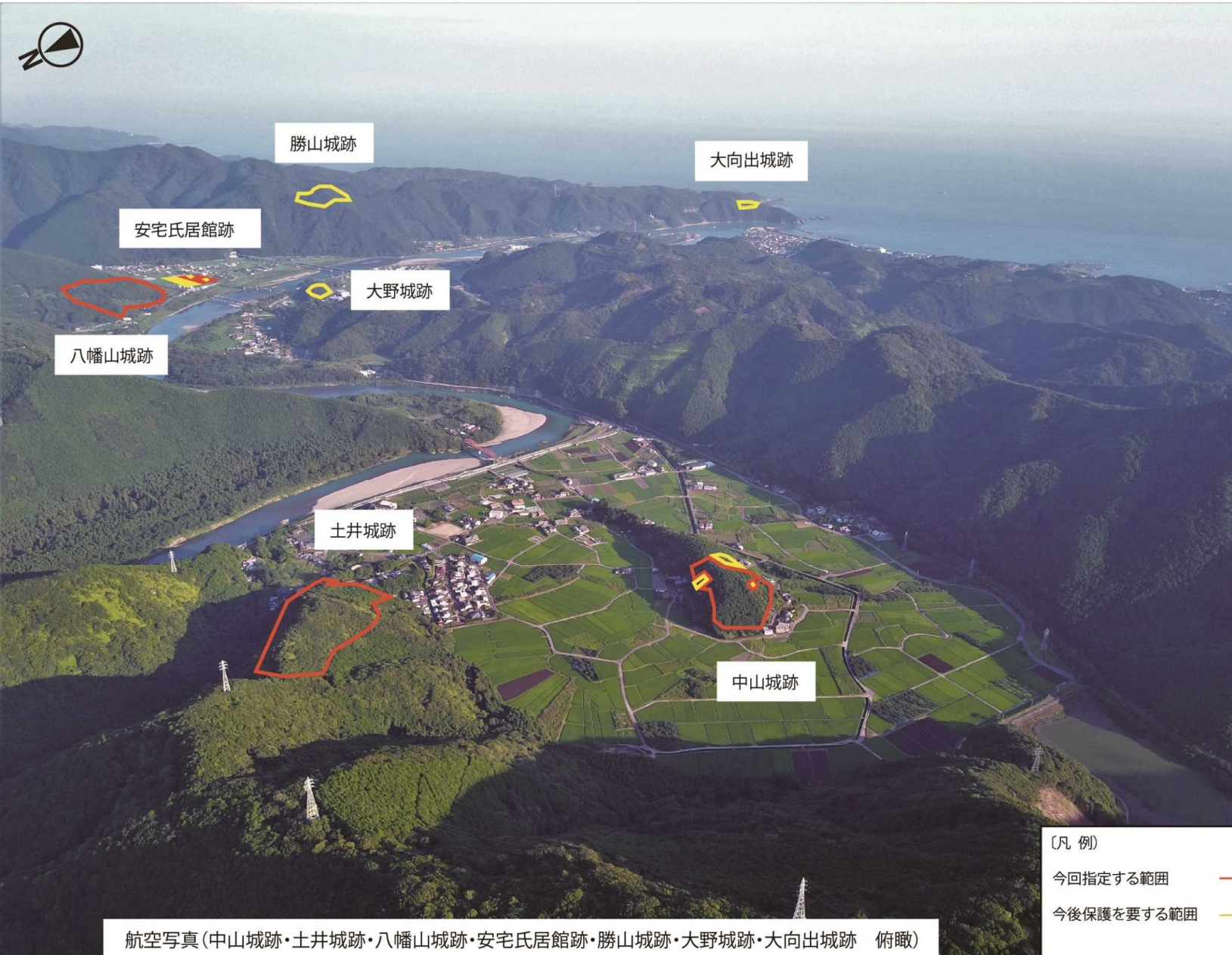
名称：安宅氏城館跡

範囲：西牟婁郡白浜町安宅（旧日置川町） 122431m²

構成要素：安宅氏居館跡、八幡山城跡、土井城跡、中山城跡、要害山城跡

価値：

- ・日本列島の東西を結ぶ海上交通の結節点である紀伊半島を本拠とする水軍領主（熊野水軍）、安宅氏の城館群。
 - ・戦国期では隣接する勢力との抗争の中で戦略的に城館を築城している状況が確認でき、中世の熊野水軍の領域支配の様相の一端を示す。
 - ・城跡は卓越した規模かつ良好に遺存しており、それらが水運、熊野参詣道（大辺路）を介して相互に関連している様相がうかがえる。
- 中世における熊野水軍の存在形態を示す城館跡として貴重。



航空写真(中山城跡・土井城跡・八幡山城跡・安宅氏居館跡・勝山城跡・大野城跡・大向出城跡 俯瞰)

〔凡例〕
 今回指定する範囲 — 赤線
 今後保護を要する範囲 — 黄線



八幡山城跡 二の曲輪
土塁 石積み



要害山城跡 畝状空堀群



中山城跡 土塁石積み